

わになって・みんなポカポカ・大鰐町

# 広報 おおわに

1月号  
令和8年  
(2026年)  
No.768

## 今月のおもな内容

◇町長新年挨拶	2
◇まちの話題	3
◇まちのお知らせ	4
◇月替わりの掲載コーナー	20
◇こちら警察・消防	21、24
◇おおわにかわら版	22、23、26、27



## 『町長新年挨拶』

町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎え、皆様におかれましては健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、町政運営に関しましては、特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年、令和七年は、本町にとって、喜びとともに様々な課題にも向き合った一年でありました。

まず、喜ばしい出来事として、第九八回全日本学生スキー選手権大会、通称「インカレ」が大鰐温泉スキー場で盛大に開催されたことが挙げられます。本町で繰り広げられた熱戦は、私たちに大きな感動を与えてくれました。本年二月に開催される国民スポーツ大会冬季大会もより一層の興奮をもたらし、地域経済の活性化に大きく貢献することを期待しております。

一方で、昨年は記録的な豪雪に見舞われました。降り積もる雪は、町民の皆様の生活に大きな影響を与え、交通網の混乱や除雪作業の負担増に加え、リンゴ樹の損傷や農業施設の雪害な

ど、多くの課題を突きつけられました。改めて、自然の脅威の前に、防災対策の重要性を痛感した一年でありました。

昨年はクマの出没が相次ぎ、町民の皆様には大きな不安を与えました。人的被害はなかったものの、町民の皆様の中には、いつどこで遭遇するかわからないという恐怖が深く刻まれたことと思います。また、リンゴをはじめとする農作物の被害は過去最大となっており、町といたしましては、引き続き鳥獣害対策にしっかりと取り組み、町民の皆様が安心して暮らせるよう努めてまいります。

また、依然として続く物価高騰が、日々の暮らしや地域経済に大きな影響を及ぼしました。本町では、こうした状況を少しでも和らげるため、町民の皆様一人あたり五千円分の商品券を配布いたしました。この商品券が、地域経済の活性化に少しでも貢献できたのであれば幸いです。

混乱とした社会情勢の中でも、明る

い兆しもありました。若手農業者で組織される大鰐町高原果菜生産組合「鰐人（わにんど）」が、新たなブランド「ワニベジ」の販売を開始し、大きな話題となりました。ピーマンの「ワニピ」、小玉スイカの「ワニピノ」、ミニトマトの「ワニトマ」など、ユニークなネーミングと高品質な味わいは、多くの方々からご好評をいただいております。

さらに、本町がハウスワイン・シードル特区に認定されたことも、新たな産業の可能性を広げる大きな一歩となることでしよう。

弘前大学との連携も、着実に進んでいます。弘大祭への出店や、町のイベントへの学生の皆様の参加は、若い力とアイデアを町にもたらし、地域を盛り上げる大きな力となっています。今後、大学との連携を強化し、地域活性化につなげていきたいと考えております。

さて、行政需要が複雑多様化する中、本町の財政状況は依然として厳しい状況にあります。しかしながら、人

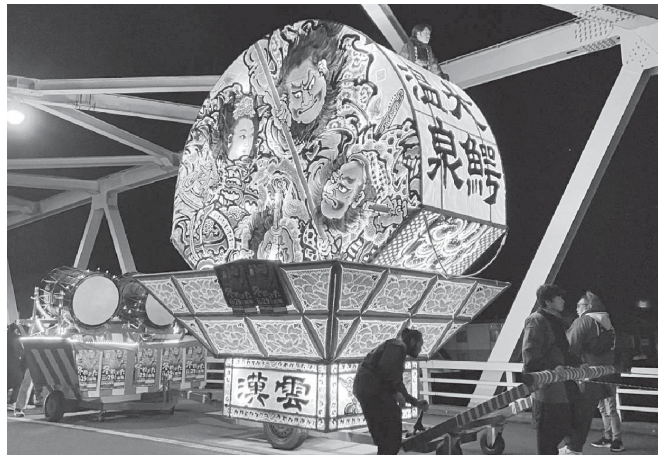
口減少の克服、町の基幹産業である農業をはじめとする産業振興、防災対策の充実、地域公共交通の維持など、町が抱える課題に正面から向き合い、解決に向けて取り組んでいかなければなりません。

本町の豊かな自然や歴史、文化など、町の魅力を最大限に生かしつつ、町民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、必要な対策を着実に推進してまいります。

結びになりますが、本年が町民の皆様にとって、健やかで実り多い一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

大鰐町長 山田 年伸





## 大鰐温泉冬ねぶたが運行されました

11月29日に蔵館ねぶた愛好会による「大鰐冬ねぶた」が不二やホテルから出発し、大鰐温泉駅前まで運行を行いました。

主催者の清水崇則さんは「ねぶたを楽しめるイベントを行うことは町の活性化の一役を担うことになったと思います。また、たくさんの方に参加とご協力いただきありがとうございます。」と感謝を述べていました。

この事業は、令和7年度住民参加型まちづくり事業を活用した企画の一つです。来年度の募集については、広報11ページに掲載しておりますので、ご確認ください。

## 令和7年秋の褒賞（藍綬褒賞）の伝達を行いました

山田秋代さんが、令和7年秋の褒章（藍綬褒章）を授与され、12月3日（水）に大鰐町役場で伝達されました。藍綬褒章は国や地方公共団体から依頼された公共の事務に尽力された方に贈られるものです。

山田さんは、民生委員児童委員として、平成13年から令和4年まで21年間、令和元年から3年間は大鰐町民生委員児童委員協議会副会長を務められました。今回の受章は、長年にわたり地域福祉の推進に尽力された功績が認められたものです。



## 町教育委員が地方教育行政功労者表彰を受賞しました

町教育委員を務める小西祐さんが『地方行政教育功労者表彰』を受けて12月1日、町長に表彰について報告しました。

同表彰は地方教育行政において功労が特に顕著な教育委員会の委員長、委員、教育長に対して文部科学大臣から表彰状と記念品が贈られるものです。小西さんは平成20年から教育委員として町の子どものための教育のために尽力しています。

町長は「これまでのご尽力に感謝いたします。今後も町の教育行政へのご協力をお願いします。」と感謝を述べました。

## 納税貯蓄組合連合会で研修会を行いました

11月28日、町税務課職員が講師となり、大鰐町納税貯蓄組合連合会の会員を対象に、給与所得控除の見直しや、扶養親族等の所得要件の改正等について研修会を実施しました。

納税貯蓄組合連合会は、自主納付と納期内完納の促進を達成するため、納税思想の高揚を図ることを目的に活動している団体です。

真剣に話を聞く姿勢がとても印象深く、また、「難しい内容だった」、「税に関心を持ちちゃんと申告することが大切だ」といった声が聞かれました。




## 北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら？

昨年12月、北海道・三陸沖後発地震注意情報が運用開始以降初めて発表され、発表期間中は対象地域に対して地震への備えの再確認などが呼びかけられました。あらためて、北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたらどうすればよいかを確認しましょう。

### 北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたら？

当町は北海道・三陸沖後発地震注意情報発表時において防災対応をとるべきエリアに指定されてはおりませんが、大規模地震の発生に伴い、発表後は余震や関連する地震が発生する可能性があります。発表された際には、平時からの地震の備えを再確認するなど、個々の状況に応じて後発地震に備えた対応が重要です。

<p><b>地震時に迅速な避難が必要な場合</b></p> <p>揺れを感じたり、津波警報等が発表されたりした場合に、直ちに津波から避難できる態勢の準備</p> <p><b>すぐに避難できる態勢での就寝</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□すぐに逃げられる服装で就寝</li> <li>□子どもや高齢者等、要配慮者と同室で就寝</li> <li>□室内で最も安全かつ避難しやすい部屋の使用</li> </ul>  <p><b>非常持出品の常時携帯</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□準備しておいた非常持出品を日中は常時携帯、就寝時は枕元に置く</li> <li>□身分証明書や貴重品を常時携帯</li> <li>□防寒具等、積雪寒冷に備えた装備を手元に置く</li> </ul> 	<p><b>地震によるリスクの高い場所がある場合</b></p> <p>想定されるリスクからの身の安全を確保する備え</p> <p><b>揺れによる倒壊への備え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□先発地震で損壊した建物や崩れやすいブロック塀等にはできるだけ近づかない</li> </ul>  <p><b>土砂災害等への注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□先発地震により、土砂崩れの危険性が高まっている場所にはできるだけ近づかない</li> <li>□崖崩れの恐れがある家では、崖に近い部屋での就寝を控える</li> <li>□地震発生後の津波からの避難が困難な地域に立ち入る際は、そのようなリスクのある区域であることを意識して、いつでも避難できるようにする</li> </ul> 	<p><b>後発地震に注意し、誰もが実施すべき備え</b></p> <p><b>緊急情報の取得体制の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□携帯電話等の緊急情報を取得できる端末の音量を平時よりも上げておく</li> <li>□ラジオや防災行政無線の受信機等を日頃生活する空間に配置</li> </ul>  <p><b>日頃からの備えの再確認</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□水や食料等の備蓄の再確認</li> <li>□避難場所・避難経路等の再確認</li> <li>□家族との連絡手段の再確認</li> <li>□家具の固定の再確認</li> <li>□自治会単位での訓練等での再確認等</li> </ul> 
--	---	--

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されたときの防災対応（リーフレット「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」より）

※「北海道・三陸沖後発地震注意情報」の発表期間中に対象地域への旅行や出張を中止する必要はありません。ただし、常に緊急情報を取得できるようにし、滞在先の市区町村からのお知らせや交通状況等を事前に確認し、適切に行動できるよう心がけましょう。

### 日頃からの地震の備えを忘れずに！

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されても、発表期間の1週間に被害を伴うような大地震が発生しないことがほとんどです。たとえ、地震が起これなくても、「空振り」ではなく防災意識の向上につながる「素振り（練習）」と捉えましょう。

また、巨大地震は何の前触れもなく発生する可能性がありますので、突発的な大地震の発生に備えて、日頃から地震への備えを徹底しましょう。

北海道・三陸沖後発地震注意情報について（内閣府ホームページ）



■お問合せ 青森地方気象台 ☎ 017・741・7413  
総務課消防防災係 ☎ 48・2111



## 地域包括支援だより

## 『終活』のススメ

～いつか迎えるその日まで、  
自分と家族のためにできること～

『終活』という言葉をよく耳にするようになりました。終活とは、人生の最期に備えて、自分のことを少しずつ整理していく取り組みのことです。終活には、葬儀やお墓の準備、医療や介護の意向、財産の整理などたくさんありますが、終活を始めようと思っても、何から手をつければよいのか悩んでしまう方が多いことと思います。終活は、何歳から始めても構いません。無理のないペースで、始めやすいことから少しずつ進めていきましょう。

### 終活の主なメリット

- ① 「死」に対する不安を軽減できる
- ② 心の整理ができる
- ③ 残りの人生をより豊かにすることができる
- ④ 残された家族の負担を軽減できる
- ⑤ 親族間のトラブルを防ぐことができる

### 取り組みのポイント

- ① マイペースで進めよう
- ② 体力のあるうちに始めよう
- ③ 家族と情報を共有しよう
- ④ 断捨離（不要な物を断つ、捨てる）の考え方を取り入れよう
- ⑤ 複雑な問題（法律や財産など）は専門家に相談しよう



### エンディングノートから始めましょう

終活の第一歩として、エンディングノートの作成がおすすめです。エンディングノートとは、自分の人生の最期に備えて、家族や大切な人に伝えたいことや必要な情報をまとめておくためのノートです。遺言書とは違い、法的な効力はありませんが、もしもの時に備えて気持ちを整理し、ご自身のため、大切な人へ想いを届けるために、ぜひ活用しましょう。



このたび、町と包括連携協定を締結している第一生命株式会社と共同で、エンディングノート「大切な方への絆ノート」を作成しました。大鰐町のホームページからダウンロードできるので、ぜひご活用ください。

### ■お問合せ

保健福祉課地域包括支援係 ☎ 55・6569 (直通)



事項に変更がない場合のみ有効)

- ☐ 身元確認書類・・・運転免許証、健康保険等の資格  
確認書、障害者手帳など

## ②利用者識別番号 (16桁の番号です)

ご自身で利用者識別番号を取得した際にプリントアウトしたものや、税務署から送付される確定申告のお知らせ等、利用者識別番号が記載されている書類をお持ちください。

利用者識別番号は、昨年度、町の申告相談会場で所得税の確定申告書を作成した方は、町で把握しているため不要です。

## ③収入・経費の分かる書類

### 【給与所得者、公的年金などの所得がある方】

- ☐ 源泉徴収票（書面交付の場合は**原本**が必要です。）  
※電子交付の場合はスマホ等の画面を見せていただくこともあります。（電子交付の場合はご自身で印刷のうえ持参していただいても構いません。）

### 【営業・農業・不動産等の事業所得がある方】

- ☐ 売上等収入金額がわかるもの  
☐ 必要経費となる領収書など

### 【一時所得のある方】

- ☐ 生命保険金等の受取に係る証明書など

【**譲渡所得のある方**】（不動産の売却、貴金属や書画を売却して利益を得た方）

- ☐ 売買契約書、特別控除の適用に必要な証明書など

## ④各種控除を受けるために必要な書類

### 【医療費控除を受けたいとき】

- ☐ 医療費控除の明細書や領収書、医療費通知など  
☐ 補てん金の額がわかるもの（生命保険会社から受け取った入院給付金や手術給付金など）

### 【障害者控除を受けたいとき】

- ☐ 身体障害者手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳、愛護手帳（療育手帳）などの障害の程度がわかるもの

### 【各種保険料の控除を受けたいとき】

- ☐ 生命保険料、地震保険料などの控除証明書  
☐ 社会保険料（国民健康保険税を含む）、国民年金保険料などの控除証明書または領収書  
☐ 小規模企業共済法に規定された共済契約掛金など（iDeCoを含む）の控除証明書や払込証明書

### 【寄附金控除を受けたいとき】

- ☐ 寄附金の受領書や証明書など

## ⑤所得税の確定申告で納付となり振替納税を希望する方

- ☐ 申告者本人名義の通帳（または金融機関名と支店名及び口座番号のわかるもの）  
☐ 通帳の届出印

## ⑥所得税の確定申告で還付となる方

- ☐ 申告者本人名義の通帳（または金融機関名と支店名及び口座番号のわかるもの）

【**注意！**】代理者口座は不可です。（納税者が死亡したときの準確定申告を除く）

## 3 相談時間の短縮にご協力ください！

みなさまにお待ちいただく時間及び相談時間短縮のため、次のことにご協力ください。

### ①医療費の領収書の仕分け

医療費控除の申告をされる方は、なるべく「医療費通知書（医療費のおしらせ）」を持ってきてください。

また、領収書を持つてくる場合は、「受診した人／医療機関／調剤薬局」それぞれすべて分け、あらかじめ小計を計算したうえでもってきてください。

### ②収入・経費の仕分け

申告していただく収入は、委託手数料や運賃手数料、協力金などの控除金額が引かれる前の額を合計してきてください。また、委託手数料や運賃手数料、協力金等は「経費」として申告していただくので、それぞれの合計額を計算してきてください。

### ③必要書類は忘れずにお持ちください

必要書類が不足している場合は、そのまま相談を受けることができず、必要書類を持参のうえ再度会場にお越しいただき、申告をやり直すことになるため、来場前にあらかじめご確認のうえお越しくください。

令和7年分の所得税の確定申告書をご自身で税務署に提出する方は町への町民税・県民税の申告は不要です。  
※申告相談期間中は、担当職員が申告会場に移動して対応しております。

**相談を受け付けるための設備がないため、税務課窓口での申告相談は受付できません。会場にお越しください。**



## 令和8年度（令和7年分）町・県民税申告相談①

令和8年1月1日現在、大鰐町内に住所があった方は、令和7年中の収入・所得などについて令和8年3月16日までに大鰐町に町・県民税の申告書を提出することになっています。

町・県民税の申告書は1月第4週の回覧で配布する「申告説明書」にあるほか、町のホームページからダウンロードすることができます。また、町・県民税申告書を作成するための申告相談会を④の日程で開催します。申告相談会では町・県民税申告書のほか所得税の確定申告書（青色申告を除く）の作成も支援します。

申告相談会場の開設期間は、2月16日（月）から3月16日（月）までです。

### 1 申告する必要があるか確認しましょう！ ☒チェックがついたら、申告会場にお越しください

次の①から④に当てはまる方は申告する必要があります。

当てはまる項目に☐チェックマークをつけて確認してみましょう！

#### ①給与所得者で次に該当する方

☐勤務先から町へ「給与支払報告書」が提出されない方（提出の有無は勤務先にご確認ください。）

☐年の途中で退職したため年末調整をしていない方

☐給与のほかにも収入がある方、または2か所以上に勤めて給与を受けた方

☐社会保険料控除、扶養控除、医療費控除など年末調整に出し忘れた各種控除がある方

★収入が給与所得のみで、勤務先が年末調整した給与支払報告書を町に提出する方は申告が不要です。

#### ②年金所得者で次に該当する方

☐年金所得以外の所得がある方

☐収入が非課税年金（遺族年金、障害年金）のみの方

☐社会保険料控除、扶養控除、医療費控除など各種控除がある方

★次の要件に該当する方は申告が不要です。

▶収入が公的年金収入のみの65歳未満の方で、年金収入98万円以下の方

▶収入が公的年金収入のみの65歳以上の方で、年金収入148万円以下の方

#### ③事業所得などがある方

☐農業 ☐営業 ☐不動産 ☐山林 ☐一時（生命保険の一時金や賞金など） ☐配当

☐譲渡（不動産の売却、貴金属や書画を売却して利益を得たなど）

☐雑（原稿料や講演料、生命保険の個人年金など）

★所得がゼロの場合や収支が収入から経費を引いた所得が少額・マイナスの場合であっても申告が必要です。また、譲渡所得（不動産売却など）があった方で、特別控除を受けるためには、確定申告が必要です。

※申告書の作成に当たり、収入の伝票、必要経費や医療費控除のための領収書等をご自身で集計の上、ご来場ください。

#### ④休職・求職中であつたために収入がなかった方で次のいずれかに該当する場合は申告しましょう

☐国民健康保険や後期高齢者医療保険に加入している方  
⇒保険税及び保険料の算定資料となりますので、必ず申告をお願いします。

☐他の市町村に住んでいる方の扶養になっている方

④に該当する方は、開設期間後の3月17日（火）～4月15日（水）の間、役場税務課で申告を受け付けます。

### 2 申告に必要なものをそろえましょう！ 必要書類等に☒をつけてみましょう

申告相談に行く前に、次の①から⑤までの申告に必要なものを確認し、☐チェックマークをつけてみましょう！

#### ①本人確認書類（代理人が手続きする場合は、代理人の身元確認書類も必要です）

※申告する方全員分が必要です

☐マイナンバーカード

マイナンバーカードをお持ちでない場合は、

☐個人番号（マイナンバー）確認書類・・・個人番号が記載された住民票、個人番号の通知カード（記載



令和8年度（令和7年分）町・県民税申告相談 ②

4 申告相談日程を確認しましょう！ 日程表をみて対象地区・会場を確認しましょう

▶開場… 8 時30分 ▶申告相談時間… 9 時～15時

相談日	曜日	相談対象地区	会場
2 月 16日	月	全地区 給与・年金のみの方	大鰐町地域交流センター 「鰐come」 (多目的ホール)
17日	火	虹貝・虹貝新田	
18日	水	島田・早瀬野	
19日	木	唐牛（1～5）・駒木	
20日	金	唐牛（6～10）・駒ノ台・前田ノ沢・日の出	
23日	月	全地区	
24日	火	蔵館（1, 2, 3, 6, 7, 8）	
25日	水	蔵館（4, 5 A, 5 B）	
26日	木	元長峰・苦木	
27日	金	長峰・九十九森	
3 月 2日	月	三ツ目内	
3日	火	居士	
4日	水	高野新田・折紙	
5日	木	八幡館	
6日	金	森山・鯖石	
8日	日	全地区	
9日	月	宿川原	
10日	火	大鰐（1～5 B）	
11日	水	大鰐（6 A～7 A）	
12日	木	大鰐（7 B～10）	
13日	金	全地区 【上記期間中に来場できなかった方】	
14日	土	全地区 【上記期間中に来場できなかった方】	
16日	月	全地区 【上記期間中に来場できなかった方】	

※混雑を避けるために対象地区を設定していますが、相談者の都合の良い日にご来場ください。

5 所得税の申告はスマートフォン・パソコン・タブレットで簡単に申告できます！

所得税の確定申告をする方は、それを基に町・県民税の計算を行いますので、町・県民税の申告が不要となります。所得税の確定申告は、スマートフォン・パソコン・タブレットを使うと確定申告書の作成から電子送信まで行うことができるため、好きな時間に好きな場所で確定申告をすることができます。



確定申告書等作成コーナー



確定申告を e-Tax で行う  
方法についての動画解説

**「自宅からのe-Tax」5つのメリット！**

税務署への持参

不要

印刷・郵送代

不要

添付書類

不要※

※一部の書類は除きます

確定申告期間の利用可能時間

24時間※  
いつでも

※メンテナンス時間を除きます

還付金

BANK

早期  
還付

3週間程度で還付！  
書面提出の場合は  
1か月～1か月半程度で還付

所得税・復興特別所得税の納期限及び町・県民税の申告期間は3月16日（月）まで

※3月17日（火）以降の所得税の確定申告についてはご自身で税務署へ郵送もしくは直接持参していただくことになりますので、あらかじめご了承ください。

■お問合せ 税務課住民税係 ☎ 55・6562（直通）（内線413・414・410）



## 償却資産（固定資産税）の申告は令和8年2月2日（月）までに

令和8年1月1日現在で償却資産を所有している会社や個人は、所有状況について町に申告する義務があります。廃棄・移転などにより資産がなくなった場合も減少の申告をしてください。

### ●償却資産とは

償却資産は、土地や家屋と同様に固定資産税の課税対象のひとつです。減価償却の対象となる事業用の資産を所有している場合、所有者に償却資産の申告義務が生じます。

### ●提出期限

令和8年2月2日（月）

※広報おおわに12月号で提出期限を令和8年1月30日としていましたが、正しくは2月2日となります。

### ●提出書類

①償却資産申告書

②種類別明細書

提出書類については税務課窓口にて配布又はお電話いただければ郵送いたします。前年度償却資産の申告をされた事業者の方には例年通り郵送いたします。

### ■お問合せ・提出先

税務課資産税係 ☎ 55・6562（直通）

## 個人住民税の特別徴収の推進について

所得税の源泉徴収義務のある事業主の方は、地方税法の規定により、給与支払いの際、「個人住民税の特別徴収」を行うことが義務付けられています。

このため、県と県内全市町村では、個人住民税の特別徴収の完全実施を進めており、原則として全ての事業主の方に特別徴収を行っていただいておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

特別徴収の取組全般（中南地域）については下記連絡先へ、手続き等については従業員の住所の市町村へお問い合わせください。

### ●個人住民税の特別徴収とは

所得税の源泉徴収と同様に、事業主（給与支払者）が従業員（給与所得者）へ毎月支払う給与から個人住民税を徴収（天引き）し、従業員に代わって納入していただく制度です。

なお、個人住民税の特別徴収は、市町村が従業員ごとの税額をお知らせしますので、所得税の源泉徴収のように、税額を計算したり年末調整をしたりする手間がかかりません。また、従業員が自分で納付する「普通徴収」に比べ納め忘れがなく、1回当たりの納付額の負担が少ない（原則年4回→年12回）など、従業員にとって大変便利な制度となっております。

### ■お問合せ 青森県中南県税事務所納税管理課 ☎ 32・4341

要介護認定を受けている方の障害者控除対象者認定申請について

大鰐町では障害者手帳等を持っていない方でも、要介護認定の資料等を基に障害者控除対象者であるかを確認し、『障害者控除対象者認定書』を交付しています。所得税及び住民税（町県民税）を申告する際に、この認定書を提示することで、本人またはその扶養者が所得控除（障害者控除）の適用を受けることができます。

障害者控除を受けるためには『障害者控除対象者認定書』が必要となります。交付を希望される方は、介護保険被保険者証をご準備のうえ、保健福祉課介護保険係（⑤窓口）又は郵送にて申請書をご提出ください。※交付までに時間を要する場合がありますので、余裕をもって申請をお願いいたします。

なお、前年12月31日の時点で新規・更新・区分変更の申請中で結果が確定していない方は認定日以降の交付となります。

- 申請できる方 本人又は親族、法定代理人
- 対象となる人 ①前年12月31日の時点で65歳以上で大鰐町の要介護認定（要介護1～要介護5）を受けている方  
※要支援1・要支援2は該当になりません  
※申告対象期間の途中で死亡等により資格喪失した場合は当該日時点で判定  
②下記の判定基準に該当する方
- 判定基準 認定の可否については、介護認定審査会の資料を基に判断します。判定基準に該当しない場合は、要介護1～5の認定を受けていても非該当となる場合があります。

認定		判定基準
障害者	知的障害者（軽度・中度）に準ずる	次の①、②のいずれにも該当する者 ①要介護1から要介護3 ②認知症高齢者の日常生活自立度がランクⅡaからランクM
	身体障害者（3級～6級）に準ずる	次の①、②のいずれにも該当する者 ①要介護1から要介護3 ②障害高齢者の日常生活自立度がランクA1からランクC2
特別障害者	知的障害者（重度）等に準ずる	次の①、②のいずれにも該当する者 ①要介護4又は要介護5 ②認知症高齢者の日常生活自立度がランクⅣ又はランクM
	身体障害者（1級、2級）に準ずる	次の①、②のいずれにも該当する者 ①要介護4又は要介護5 ②障害高齢者の日常生活自立度がランクB1からランクC2
	寝たきり老人	常に就床を要し、複雑な介護を要する状態であること（6ヶ月程度以上臥床し、食事・排便等の日常生活に支障のある状態）

■お問合せ  
保健福祉課介護保険係 ☎ 55・6568（直通）

ひろさき圏域移住者交流会が開催されます！

青森県外から弘前圏域市町村（弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村）へ移住された方や移住を検討されている方が自由に交流できるイベントです。

- 日 時 令和8年1月18日（日） 13時～15時
- 場 所 HIROSAKI ORANDO ギャラリースペース（弘前市百石町47-2）
- 対 象 青森県外から弘前圏域市町村への移住者、移住検討者 20名程度
- 参加料 500円（ドリンク代）
- 申込み 令和8年1月12日（月・祝）までに、二次元コードから申し込みください



■お問合せ (株) ORANDO PLUS 石山 (orandoplus@gmail.com)



## 令和8年度住民参加型まちづくり事業 1次募集中です！【締切：1月23日(金)まで】

町では、住民団体が主体的に取り組むまちづくり・地域づくり活動に対し、予算の範囲内において資金助成等によって支援します。（※本事業は令和8年度当初予算が可決された場合に事業実施となります。）

令和8年度より、対象となる経費に食糧費の項目が追加され、交付決定が3回以上の団体は、審査基準が厳しくなります。それに伴い、要綱と募集要項の改訂が行われたため、申請される団体の方は、町 HP より詳細をご確認ください。

### 1. 対象事業

地域の課題解決や活性化を目的に実施する公益性のある事業

### 2. 補助金額

補助対象経費合計額又は50万円のいずれか低い額以内の額（千円未満切り捨て）なお、補助申請額が20万円を超えない団体は審議会でのプレゼンテーションが不要です。

### 3. 募集期間及び事業の実施期間

#### 募集期間

令和7年12月19日(金)から令和8年1月23日(金)

#### 対象事業の実施期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

#### 審議会

令和8年2月中旬



町 HP はこちら

### 【令和7年度に採択された事業例】



・ドッグランの開催



・モルックの開催

モルック（木の棒）を投げて  
得点を競うイベント

その他、ねぶたの運行、ゴルフ大会、スキーイベントがあります！

### ■お問合せ・申込先

企画観光課企画係 ☎ 55・6561

応募書類や対象となる事業、経費等の詳細は、二次元コード（町 HP）よりご確認ください。

## 令和8年4月からのごみ分別について

大鰐町では令和8年4月よりごみの分別方法が変更となり、プラスチック資源も分別対象となります。  
詳細については下記をご確認ください。収集は第1～第4土曜日に、ネットバックによる回収を予定しています。町民の皆様のご協力をお願いいたします。

### プラスチック資源

・全部がプラスチック素材であるもの

#### プラスチック製の容器

1辺の長さ45cm 未満のもの

・拭き取りまたは洗って、固形物は全て取り除くこと

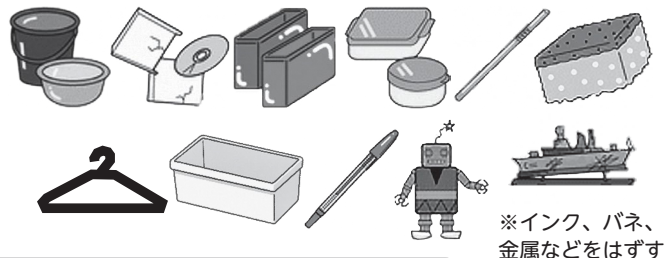
・乾かすこと



#### プラスチックの製品

1辺の長さ45cm 未満のもの

- ・土や砂または泥などの汚れを取り除くこと
- ・プラスチック以外の素材を取り外すことができれば、プラスチック製品の対象になります。



※インク、パネ、金属などははずす

#### 大型プラスチック

1辺の長さ45cm 以上の記載の品目

##### 台所用品

- ・お 盆
- ・ざる
- ・たらい
- ・漬物おけ
- ・水切りかご

##### 入浴用品

- ・風呂ふた
- ・腰 掛
- ・洗面器
- ・ベビーバス

##### 清掃用品

- ・洗濯かご
- ・ちりとり
- ・バケツ

##### 収納用品

- ・衣装ケース
- ・コンテナ
- ・書類ケース
- ・シューズボックス

##### 園芸用品

- ・植木鉢
- ・プランター
- ・じょうろ

##### 家具・雑貨

- ・買い物かご
- ・ごみ箱

##### レジャー用品

- ・クーラーボックス
- ・ソ リ

注  
意  
事  
項

- ・記載の品目以外の1辺の長さ45cm 以上のプラスチックは、粗大ごみに出してください。
- ・大型プラスチックの判断に困った場合は、これまでどおり粗大ごみとして、出すこともできます。

イラストの出典：経済産業省ウェブサイト（ごみイラスト素材集）

### プラスチック資源に混ぜてはいけないもの

- ・使用済小型電子機器（小型家電回収ボックスをご利用ください）
- ・火災を生ずるおそれのあるもの（電池、エアゾール缶、スプレー缶、ライター、モバイルバッテリーなど）
- ・けがをする原因となるもの（カッター、包丁、かみそりなど）
- ・感染するおそれのあるもの（点滴用器具など）
- ・硬すぎるもの（ヘルメット、まな板など）

★電池（特にリチウムイオン電池）が使用されているものは、ごみ収集車両や、施設での火災の危険性がとても高いので、絶対に入れないこと



■お問合せ 住民生活課生活環境係  
☎ 55・6563（直通）



住民同士



支え合いのかたち

## ～ 人生100年時代に向けて、地域の「チカラ」・住民の「チカラ」 ～

大鰐町の高齢化率は、令和7年10月末時点で46.5%と、本格的な超高齢化社会へ突入しており、社会を支えることは、行政や福祉の専門職だけでは困難となっております。そのため、住民同士が支え合い、住み慣れた地域で暮らし続けるためのまちづくりを進めております。

地域で支え合いの活動を行っている取り組みを紹介します。



### 高齢者が集う地域の居場所 ～『通いの場』～ プラザ宿川原健幸サークル



#### 【概要】

活動内容：運動（体操）・レク等

活動日：金曜日（月4回程度）

13時30分～15時

活動場所：宿川原生活改善センター

参加者：10人前後

費用：会費 月500円

代表：山中博文



宿川原地区にて、介護予防のため、シニアにやさしい身近な運動の教室を行っています。

筋力アップ体操・チューブやボールを使用した体操・アップル体操など様々な運動を行っています。

健康寿命を長くして、介護期間を短くすることを目標にしています。

興味のある方はまずは見学からどうぞ。

#### 【参加者からの声】

○ここに来ると笑ってたくさん話ができる。

○運動したら、立ってズボンがはけるようになった。

○からだを動かすとさっぱりする。

○みんなで一緒に運動するのが楽しい！



どうして  
「通いの場」が  
必要なの？



地域の高齢者が毎日をいきいきと健康に過ごすための場所である『通いの場』は、介護予防、認知症予防にもつながる重要な取り組みとして推奨されています。

介護予防のためには、日常生活において「運動」「栄養」「社会参加」の三本柱を意識していくことが大切となりますが、普段から通いの場に通うことにより、人と交流する「社会参加」の機会になるとともに、自宅から通いの場まで歩いていくこと自体が日々の「運動」につながることを期待されます。

心とからだのフレイル予防のためにも、『通いの場』へ行ってみませんか♪

■お問合せ 保健福祉課介護保険係 ☎ 55・6568（直通）

## 国民健康保険被保険者のみなさまへ

### ～今年度の特定健診はお済みですか？～

#### ●特定健康診査（特定健診）とは

特定健康診査とは、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要とする人を的確に抽出するために行う健診ですので、積極的な受診をお願いいたします。

#### ●受診状況・・・32.3%（令和7年10月27日現在）

#### ●対象者

大鰐町に住所を有する国民健康保険の被保険者のうち令和7年度中に40歳以上になる人です。ただし、病院等へ長期入院している人、障害者施設や介護保険施設等に入所している人などは除きます。

対象者には、令和7年5月に緑色の受診券を送付しております。年度途中で資格を取得された方には、随時送付しております。紛失された方は、再発行しますので住民生活課国保年金係までご連絡ください。

#### ●健診の内容・・・身体計測、診察、尿検査、血液検査、血圧測定、心電図検査などです。

#### ●受診の方法

①集団健診・・・今年度は終了しました。（6月・7月・11月実施済み）

②個別健診・・・かかりつけの医療機関で受けられます。

受診できる医療機関の一覧は、受診券に同封していますので、ご確認ください。

受診を希望する人は、直接、電話等で医療機関へ申し込み（予約）してください。

受診の際は、必ず「受診券」と「マイナ保険証」を持参してください。

#### ●受診の期限・・・令和8年2月28日まで

#### ●料 金・・・無料で受診できます。

※ただし、年度内2回以上の健診、精密検査、治療や指導に要する費用などは自己負担となりますのでご注意ください。

### ～みなし健診についてのお知らせ～

#### ●「みなし健診」とは

町の特定健診を受診しなかったが、職場健診等で受診した際の健診結果を町へ提出していただくことで、再度健診を受診するお体の負担を軽減し、特定健診を受けたこととみなす健診のことです。

#### ●必要な検査結果項目

「みなし健診」には、下記の全ての結果が必要です。

①身体計測（身長・体重・腹囲）

②血圧

③尿検査（蛋白・糖）

④血液データ

【血中脂質】 中性脂肪（TG）、HDL コレステロール、LDL コレステロール

【肝機能】 GOT（AST）、GPT（ALT）、γ-GTP

【糖代謝】 空腹時血糖またはHbA1c

⑤診断医師名 医師の診断

#### ●ご協力いただける方は・・・令和7年度中に実施した健診結果の原本を住民生活課国保年金係（④番窓口）までご持参ください。ご協力いただいた方には、町指定ごみ袋（30L10枚入）を進呈しております。

■お問合せ 住民生活課国保年金係 ☎ 55・6563（直通）



## 住民生活課（年金）だより

### ◆20歳になられた皆さんへ～国民年金保険制度のお知らせ～

国民年金は、老後、病気や事故で障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、働いている世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。20歳になった方には、日本年金機構から国民年金（第1号被保険者）に加入したことをお知らせしています。（20歳の誕生日以前に厚生年金保険に加入している方を除く）

#### ○国民年金保険料と納付の種類

国民年金第1号被保険者及び任意加入被保険者の令和7年度の保険料は、月額17,510円です。

納付方法は「納付書（Pay-easy も可能）・口座振替・クレジットカード」があります。

前納制度をご利用いただくと、毎月払よりも保険料が割引されます。口座振替の2年前納制度を利用すると、最も割引率が大きくなります。

#### ○「付加年金制度」

定額保険料（17,510円）に月額400円の付加保険料を上乗せして納めると、将来の老齢基礎年金に付加年金が加算され、年金額を多く受け取れます。

※付加年金及び前納は申出月からの開始となりますので、20歳到達月（20歳の誕生日の前日が含まれる月）からの納付を希望される場合は、20歳到達月中にお申し出ください。

#### ○学生納付特例制度と免除制度・納付猶予制度

日本国内に住む20歳以上のすべての方は国民年金の被保険者となり、保険料の納付が義務付けられていますが、学生には、申請により在学中の保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」が設けられています。また、収入の減少や失業により保険料を納めることが経済的に困難な方には、「免除制度」、「納付猶予制度」があります。

##### ・学生納付特例制度

本人の所得が一定額以下の場合、世帯主の所得にかかわらず保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学、大学院、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

##### ・免除制度

1号被保険者で、ご本人及び配偶者及び世帯主の所得が一定額以下の場合や、失業した場合で納付が経済的に難しい場合などに所得に応じた保険料が免除される制度です。

##### ・納付猶予制度

学生ではない50歳未満で、本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に保険料の納付が猶予される制度です。

■お問合せ 弘前年金事務所 ☎ 27・1339  
ねんきん加入者ダイヤル ☎ 0570・003・004  
住民生活課国保年金係 ☎ 55・6563（直通）

有料  
広告

## 後期高齢者医療被保険者のみなさまへ

### 1 交通事故等にあったとき

交通事故や暴力等、第三者（自分以外の人）の行為によって負傷され、マイナ保険証または資格確認書を使って治療を受けたときは、必ず住民生活課国保年金係へ届出してください。また、自損事故の場合も届出が必要です。

### 2 健康診査を受けましょう

後期高齢者医療制度に加入している方を対象に、年1回無料で受けられる健康診査を実施しています。

- ・健康診査：今年度の集団健診は終了しましたが、個別健診は令和8年2月28日（土）まで実施しています。指定医療機関へご予約のうえ受診してください。
- ・歯科健康診査：町内医療機関で令和8年3月31日（火）まで実施しています。ご予約のうえ受診してください。

健康診査及び歯科健康診査を受診する際は、受診券及び資格が確認できるもの（マイナ保険証または資格確認書）を持参するようお願いします。受診券の再発行については、住民生活課国保年金係までお問い合わせください。

### 3 不審電話にご注意ください

全国各地で、厚生労働省等の職員を騙り個人情報を聞き取ろうとする事例が発生しています。

不審な電話があった際は、安易に個人情報（氏名・住所・生年月日・世帯構成など）を教えないでください。広域連合、県、市町村及び厚生労働省の職員が、電話（自動音声案内を含む）でマイナ保険証や資格確認書の不正利用の確認や、被保険者宅に訪問し、有効期限切れの保険証の回収などの業務を行うことはありません。

不審な問い合わせや訪問がありましたら、相手の身分（所属・氏名など）を確認し、以下までお問い合わせください。

## ○後期高齢者医療保険料第7期（普通徴収）納付期限は令和8年2月2日（金）です。

■お問合せ 住民生活課国保年金係 ☎ 55・6563（直通）  
青森県後期高齢者医療広域連合 ☎ 017・721・3821

## 令和8年度「奨学金制度」のお知らせ

大鰐町では、経済的な理由で修学が困難な方を対象に『奨学金制度』を実施しております。『奨学金制度』の申込書類は、学務生涯学習課（中央公民館内）に備えておりますので、どうぞご活用ください。

### ●奨学金の額

- ①高等学校、高等専門学校又は専修学校の高等課程の生徒【月額10,000円】
- ②大学（専門職大学、大学院、専門職大学院、短期大学、専門職短期大学を含む）又は専修学校の専門課程の学生【月額30,000円】

### ●貸与の期間

奨学金を貸与する期間は、入学する学校の正規の修業期間です。なお、引き続き上級学校へ入学した際は、その正規の修業期間を貸与の期間として継続できます。

### ●奨学金の返済

学校卒業後1年間を据え置いて、15年以内（貸与の期間が4年以内のときは、10年以内）の半年賦、又は年賦で返済。

### ●申込期限（書類提出期限）

令和8年3月25日（水）

■お問合せ 大鰐町教育委員会学務生涯学習課（中央公民館内） ☎ 48・3201



## 空き家に関する相続セミナーを開催します

### ●空き家に関する相続セミナー

管理不全状態の空き家が発生する主な要因の一つである「相続」に関するセミナーを開催します。

**日 時** 令和8年1月28日（水）15時～16時30分

**場 所** ヒロロ3階多世代交流室2

**講 師** 青森地方法務局員

**申込内容** 氏名、連絡先、在住市町村、空家所在地（地番まで）、参加人数、相続に関する質問

**申込方法** 弘前市電子申請・届出システム（事前申込み制）

※電子申請・届出システムのURLまたは二次元コードからお申込ください。

[https://apply.e-tumo.jp/city-hirosaki-aomori-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=19641](https://apply.e-tumo.jp/city-hirosaki-aomori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=19641)

**定 員** 30名（先着順）※事前申込が無い場合は開催しません。

**申込締切** 令和8年1月14日（水）



■お問合せ 建設課建築係 ☎ 55・6594

## 「フォークリフト運転技能講習」開催のご案内

最大荷重1トン以上のフォークリフトの運転業務を行うことができます。

### ●日 時

(1) 受講区分 A：普通自動車運転免許以上保有者（31時間コース） 合計4日間

【学科】 令和8年2月16日（月） 8時40分～17時

【実技】 令和8年2月17日（火） 8時～17時

(2) 受講区分 C：大型特殊自動車運転免許証保有者※カタピラ限定除く（11時間コース） 合計2日間

【学科】 令和8年2月16日（月） 8時40分～17時

【実技】 令和8年2月17日（火） 8時～17時

### ●場 所

【学科】 サンライフ弘前 2階集会室（弘前市豊田一丁目8-1）

【実技】 弘果 弘前中央青果㈱ 第三売場（弘前市末広一丁目2-1）

### ●申込締切

令和8年2月9日（月）※定員に達し次第、受付を終了いたします。

### ●定 員

40名

### ●受講料、申込方法

詳細は協会ホームページ（<https://www.hiroroki.jp/index.html>）にてご確認ください。



■お問合せ （一社）弘前地区労働基準協会（弘前市大字福田字福岡10）☎ 26・0663 FAX 29・1226

第80回国民スポーツ大会  
冬季大会スキー競技会

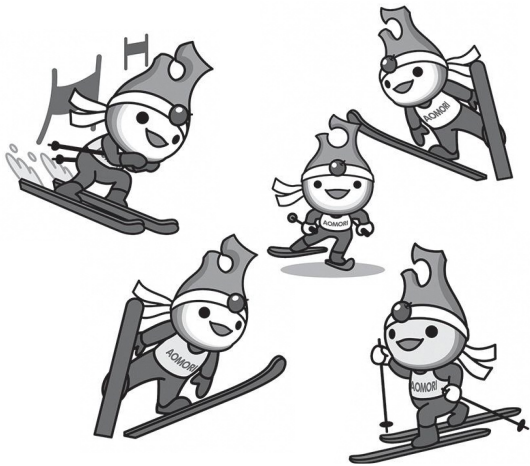
開催期間

2/14 (土) ~ 17 (火)



大鰐町と秋田県鹿角市で第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会が開催されます。スキー競技会の日本最高峰の大会です。ぜひ応援をよろしくお願いします。

■お問合せ 全国スキー大会準備室 ☎ 88・6035



大会スローガン

翔ける未来へ縄文の風に乗って

2月14日 (土)		
15:00	開始式	平川市文化センター
2月15日 (日)		
9:00	ジャイアントスラローム 成年男子 A、成年女子 A、成年男子 B	大鰐温泉スキー場
10:00	クロスカントリー (クラシカル) 少年男子、成年男子 A、成年男子 B	青森あじやら クロスカントリーコース
9:00	スペシャルジャンプ (HS=86m) 少年男子、成年男子 B、成年男子 A	花輪スキー場 花輪シャンツェ
2月16日 (月)		
9:00	ジャイアントスラローム 成年男子 C、少年女子、成年女子 B	大鰐温泉スキー場
10:00	クロスカントリー (クラシカル) 成年男子 C、少年女子、成年女子 A、 成年女子 B	青森あじやら クロスカントリーコース
9:00	コンバインドジャンプ (HS=86m) 成年男子 B、少年男子、成年男子 A	花輪スキー場 花輪シャンツェ
13:00	コンバインドクロスカントリー (フリー) 成年男子 B、少年男子、成年男子 A	花輪スキー場 クロスカントリーコース
2月17日 (火)		
9:00	ジャイアントスラローム 少年男子	大鰐温泉スキー場
9:30	リレー (フリー) 女子	青森あじやら クロスカントリーコース
11:00	リレー (フリー) 成年男子	
11:10	リレー (フリー) 少年男子	
16:00	表彰式	平川市文化センター

式典・各種競技の観覧について

大会に関する情報は、大会特設ホームページに掲載されます。随時情報を更新しておりますので、大会を観戦する方は開催期日が近づきましたら、確認をお願いします。

式典（開・閉会式）の一般観覧については、事前応募が必要になります。今後ホームページに応募方法などの情報が掲載される予定です。なお、応募者数が上限に達した場合、応募を締め切ります。

各競技会場付近すべての駐車場は、大会駐車許可証を持たない車両の駐車ができません。

レースを観戦したいという方は、大鰐温泉駅から各会場までのシャトルバスを運行しますので、バスをご利用ください。

大鰐温泉駅駐車場の混雑が予想されます。大鰐温泉駅までの交通手段として、公共交通機関（町民の皆さまはデマンドバス）をご利用ください。

■デマンドバスに関するお問合せ

☎ 55・5661 企画観光課

乗降場所や時刻表が青の煌めきあおもり国スポ・障スポウェブサイトに掲載されますのでご確認ください。

青の煌めきあおもり  
国スポ・障スポ  
ウェブサイト  
二次元コード





## 久吉ダム水道企業団からのお知らせ

### ●冬期間の水道料金について

1月から3月までの冬期間は積雪等により検針が困難なため、水道メーターの検針は行っておりません。このため、1月から3月までの水道料金については、10月から12月までの3か月分の平均使用水量を各月の使用水量とみなし、料金を算定して請求（過不足が発生した場合は、4月以降に精算）しております。

冬期間における水道料金等のご不明な点については、企業団までお問い合わせください。何とぞご理解とご協力をお願いします。

### ●水道の凍結について

冬期間の凍結による水道管の破損には、十分注意しましょう。

万一漏水があった場合は、当企業団が指定する給水装置工事事業者へ連絡し、修理してください。

※凍結防止のため少量の水を出したままにする方法については、軽減対象にはなりませんのでご了承ください。

URL : [https://www.hisayoshidam.jp/pages/1?detail=1&b\\_id=1&r\\_id=41#block1-41](https://www.hisayoshidam.jp/pages/1?detail=1&b_id=1&r_id=41#block1-41)

### ●水道使用の開始・中止について

水道の使用を開始・中止される場合、予定日の5日前までに企業団にお問い合わせください。

指定給水装置工  
事業者はこちらを  
ご覧ください



■お問合せ 久吉ダム水道企業団 ☎ 48・2229

## 今年も【冬のあおたびキャンペーン】が始まります！

昨年度に引き続き、青森県民の皆さんがおトクに宿泊できる「冬のあおたびキャンペーン」が実施されます。キャンペーン期間中に県内の参加宿泊施設に泊まると、割引やプレゼントなどのうれしい特典がもらえます。さらに、県内の参加立寄店舗でも様々な特典が用意されています！

新企画“あおたびWチャンス”では、抽選でペア宿泊券などの豪華景品が当たるかも!? おトクがいっぱいのこの機会に、県内のいろいろな場所にお出かけしてみませんか？

### ○キャンペーン期間

令和7年12月1日（月）～令和8年3月31日（火）

（令和8年3月31日チェックインまでが対象）

※予約開始日 令和7年11月19日（水）

### ○キャンペーン対象者

青森県内の居住者

※複数人グループでの予約の場合、グループ内に青森県内にお住いの方が1名でもいれば、全員が本キャンペーンの対象となります。

※チェックイン時に居住地が確認できる身分証明書をご持参ください。

### ○キャンペーン特典

（1）宿泊施設特典：宿泊代金の割引または特典

（2）立寄店舗特典：各種代金の割引または特典

※割引額、割引率及び特典の内容は、各施設・店舗によって異なります。

※店舗特典はチェックイン時にもらえる「冬のあおたびクーポン」と引き換えとなります。

### ○新企画「あおたびWチャンス」

キャンペーン参加宿泊施設のうち、Wチャンス対象の宿に泊まると抽選でペア宿泊券などの素敵なプレゼントが当たります。応募条件など詳しくはキャンペーン公式サイトをチェック！

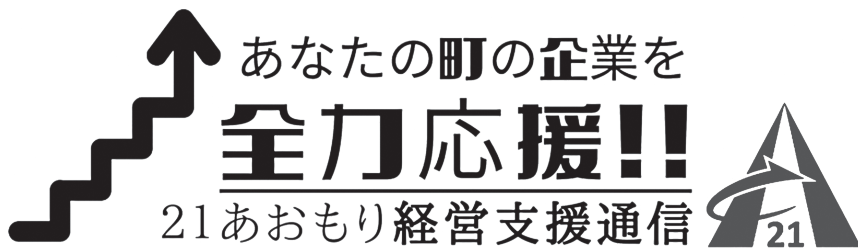


詳しくは

○冬のあおたびキャンペーン公式サイト <https://fuyuno-aotabi.jp/>

■お問合せ 冬のあおたびキャンペーン事務局 ☎ 0120・039・041





経営のあらゆる悩みを  
全力応援!!

21あおり産業総合支援センター（青森市）では、県内の中小企業者の皆様の創業、売上拡大、経営改善、事業承継など、経営に関する様々な相談に応じています。

今回は、「青森県よろず支援拠点」について紹介します！

経営に関するお悩みはございませんか？

青森県よろず支援拠点、国が全国に設置した中小企業・小規模事業者の皆様のための経営相談所です。創業や売上拡大、販路開拓、経営改善、資金調達等に至るまで、経営に関するあらゆる相談について何度でも、無料でご相談いただけます。

物価高騰や人手不足など経営を取り巻く環境は日々変化しているなか、経営のお悩みは千差万別のうえ多岐にわたります。些細なことでも結構ですので、ぜひ、青森県よろず支援拠点にお悩みをお聞かせください。

## 青森県よろず支援拠点の活用事例

青森県よろず支援拠点には、中小企業診断士や社会保険労務士等の国家資格を保有するコーディネーター（専門家）のほか、IT や SNS 等の様々な専門的知見を有する人材が在籍しています。

令和6年度は1,000社以上の県内事業者の相談対応を実施し、その相談満足度は97.8%と多くの支持をいただいています。

活用事例として、六戸町の事業者がカフェからラーメン店への事業転換に際し、補助金の申請に必要な申請事業計画の策定や金融機関からの資金調達、開業当初に想定されるオペレーション上の課題の洗い出しに至るまでをサポートさせていただいた結果、事業転換前から大幅に売上が増加したケースなど多数の事例や実績があります。

県内各地で、サテライトや定期相談会を開催しているほか、オンラインでのご相談にも「何度でも、無料で」対応していますので、ぜひお気軽にご相談ください。

## ■お問合せ

青森県よろず支援拠点（21あおもり産業総合支援センター内）

☎ 017・721・3787 メール : aomori\_vorozu2606@21aomori.or.jp



ホームページはこちら



# 行事予報



## 1 月

5日(月) ○役場開庁日

17日(土) ○健康フェスタ ～ THE NEW STEP ～

24日(土) ○文化財火災防ぎょ訓練(大円寺)

24日(土) ○三世代交流もちつき会(総合福祉センター)

## 2 月

14日(土)～17日(火) ○第80回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会

16日(月)～ ○町・県民税申告相談(詳細については、P5以降をご確認ください)

■毎月20日は、健康の日です。自分のできることから取り組みましょう。

### ■ 11 月受付分

## 戸籍の窓口

(※順不同、敬称略。大鰐町に届け出し、希望された方のみ掲載しています。)

### お誕生おめでとう

お子さん(地区名)

・嘉瀬<sup>あら</sup>新<sup>た</sup>汰(大鰐8)



### おくやみもうします

亡くなった人(年齢)地区名

- ・澁谷 喜八郎(87歳) 八幡館
- ・成田 利弘(94歳) 蔵館1
- ・幸山 キンヌ(90歳) 高野新田
- ・小山内 初美(84歳) 駒ノ台
- ・野呂 榮治(100歳) 八幡館
- ・山本 ヤシ(89歳) 蔵館5B
- ・山下 則雄(90歳) 宿川原
- ・下山 正春(91歳) 早瀬野

### 大鰐町の人口と世帯数

令和7年11月末日現在

人口	8,024人
前月比	-15人
男	3,679人
女	4,345人
平均年齢	57.8歳
世帯数	3,976世帯
前月比	-12世帯



令和7年度全国統一防火標語

急ぐ日も

足止め火を止め 準備よし

消防だより



令和8年4月1日

「弘前・西北五地域共同消防指令センター」が運用を開始します

【「医療機関紹介電話」の電話番号及び紹介方式変更のお知らせ】

「弘前・西北五地域共同消防指令センター」の運用に伴い、令和8年2月1日（日）から、当番医療機関をお知らせする「医療機関紹介電話」の電話番号が変わります。

新番号は、「050」からはじまる「050-5846-7760」です。

また、紹介方式が、電子音声で当番医療機関をお知らせする「音声ガイダンス方式」に変わります。

～ 医療機関紹介電話 ～

旧 0172-32-3999

令和8年2月1日（日）から、音声ガイダンス方式に切り替わります。  
電話番号が変更となりますので、お掛け間違いにご注意ください。

新番号は、「050」から始まる

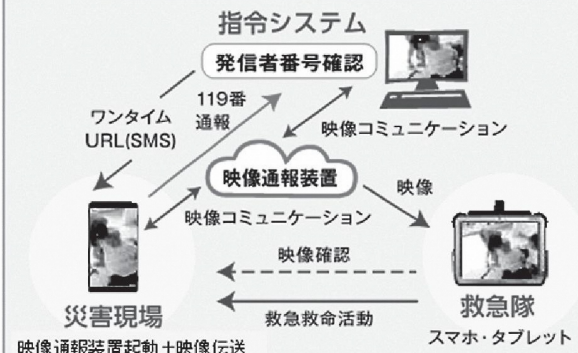
新 050-5846-7780

※平日（17時～翌日8時30分）・土日祝（終日）

【新しい通報システムが加わります】

新たに映像通報システムを導入します。119番通報時に通報者のスマートフォンからリアルタイムで映像を送信することが可能となり、従来の音声のみに頼っていた通報内容を視覚的に把握できるようになります。災害現場の詳細な状況を共同消防指令センターに伝えることで、迅速な現場対応や的確な応急処置の指示を受け取ることができます。共同消防指令センターの職員が必要と判断すれば、映像通報を依頼しますので、ご協力をお願いします。

映像通報システム



【Net119の再設定をお願いします】

今回整備の指令システム上、Net119につきましては、再度の設定が必要となります。ご利用の方にはご不便をおかけしますが、再設定をお願いします。詳しくは、消防本部通信指令課までお問い合わせください。

■お問合せ

弘前消防本部通信指令課 ☎ 32・5101

弘前・西北五地域消防通信指令事務協議会事務局 ☎ 32・5110

東消防署南分署 ☎ 48・2108

■大鰐町内の火災・救急発生状況（令和7年11月末現在）

	令和7年	前年比
火 災	3 件	± 0 件
救 急	4 4 1 件	+ 3 3 件



## 『110番』は緊急通報電話です

110番は、事件や交通事故が発生した時に警察へ通報するための緊急ダイヤルです。

警察では、毎年1月10日を「110番の日」と定め、県民の皆様には110番通報の正しい利用を呼びかけています。

### ●110番通報のしくみ

青森県内で110番通報をすると、どこからかけても、青森市にある警察本部通信指令室につながります。

通信指令室では、110番通報を受ける警察官と、無線指令をする警察官が2人1組となっており、110番通報を受けながら、同時に警察署や近くのパトカーに素早く無線指令を出すため、事件や交通事故の現場に素早く警察官を派遣することができます。

### ●110番は緊急通報電話です。お悩み・ご相談は#9110または警察署へ

110番通報は、事件や事故のための緊急通報電話です。事件や事故があった場合は、ためらうことなく110番通報をしてください。

しかし、近年、間違いやいたずら、無言電話、緊急ではない相談や、問合せなどがとても多くなっています。緊急ではない通報が多く入ると、本当に助けが必要な通報への対応が遅れてしまいます。そこで、緊急ではない悩み事などの相談は、警察安全相談電話「#9110」へ（平日8時30分～17時）、各種お問い合わせなどは、最寄りの警察署への連絡をお願いいたします。

### ●110番映像通報システムのご紹介

110番映像通報システムとは、事件や交通事故現場などの映像または画像を通報者のスマートフォンなどから警察へ送信することができるシステムです。

言葉では説明が難しい事件や交通事故の通報であっても、映像なら一目瞭然のため、通報者の負担軽減と、迅速かつ的確な警察官の対応に大きな効果があります。

110番通報をした方に対し、その通報に関する映像等を警察本部通信指令室へ返信していただくようお願いすることがあります。映像等の返信方法については、通報時にお伝えしますのでご協力をお願い致します。

## 違法駐車はやめましょう

県内では降雪期を迎え、例年、積雪により道路が狭くなりやすくなります。

その中で違法駐車をする、交通事故や交通渋滞の発生原因となるばかりでなく、救急車などの緊急自動車の通行や除排雪作業の妨害となるなど、県民生活に悪影響を及ぼします。

ドライバーの皆さん自身がルールを守ることがもち

ろん、事業者の方が駐車場を確保するなど「違法駐車をしない、させない環境作り」を推進し、違法駐車をなくしましょう！

### ●放置違反金制度とは

放置駐車違反をした運転者が警察署に出頭せず、運転者への責任追及ができないときに、公安委員会が違反車両の使用者に対し、放置違反金の納付を命ずることができる制度です。

### ●車両の使用者とは

運行を支配し、管理する者をいい、通常は車検証の使用者欄に記載されている方を指します。

### ●車検拒否制度について

放置違反金が納付されないときは、督促状によって督促を行います。

督促を受けた方は、納付が確認されるまで車検を受けることができません。

※納付後は改めて車検を受けることができます。

### ●放置違反金を納付しないと…

放置違反金は税金と同様に必ず納付しなければならないものなので、督促を受けても放置違反金を納付しないときは、最終的に財産（現金、預貯金など）の差押えを受けることがあります。

## 除排雪中の事故を防止しよう

### ●令和6年度の雪害発生状況

発生件数 180件、179人（+151件、+150人）

死亡者 10人（+7人）

### ●発生要因等

雪害の多くは、除排雪中に発生しています。

屋根の雪下ろし中に、はしごや屋根から転落した事故が最も多く発生しています。

また、高齢者の事故が多く発生しています。

### ●除排雪中の事故防止のために、気をつけること

- ・命綱、ヘルメット、滑り止めの付いた靴などを着用する。
- ・転落時に備え、周りに雪を残して作業をする。
- ・はしごは確実に固定する。
- ・除排雪作業は、家族や近所の人にも声を掛けて、できるだけ複数人で行う。
- ・軒下からの屋根の雪落とし時は、雪の下敷きにならないように、立ち位置に十分注意する。
- ・晴れの日には屋根雪が緩むので、特に注意する。
- ・体調が悪い時は無理をしない。

### ●除雪機による事故防止

- ・除雪機の点検時や雪詰まりを取り除く時は、必ずエンジンを停止する。
- ・作業中は周りに注意し、人を近付けない。
- ・後退する時は、広報や足下を確認する。

### ■お問合せ

黒石警察署大鰐交番 ☎48・2241

警察安全相談電話 ☎#9110





# こりす通信

株式会社 檜葉三百

明けましておめでとうございます！檜葉三百（ひばさんびゃく）です。  
 去年は、私たちが暖かく迎え入れていただき、ありがとうございました！  
 本年も、檜葉三百をよろしくおねがいします。



第三回目は、

## 3 そうま 相馬さん

大鰐町に来て、初めて行ったお店「大福」の店主、野呂さんに紹介していただき、ご挨拶させてもらったのがきっかけで、名刺を交換させていただきました。  
 こりす通信では、私たちが出会った順番に地域の方を紹介させていただいております。

相馬さんが、様々な活動をしているのは、祖父母の影響だと話します。樺太で商売をしていたおばあちゃんは、寝る間も惜しんで、働きながら、「疲れも眠気も感じないほど楽しかった」と語っていたそうです。その姿が相馬さんの“商売の師匠”。

今、お店に立っているとき、同じ感覚になるんだと話していた相馬さんは、「人生60年で、今が一番仕事を楽しんでいます。」と笑顔で答えてくれました。

### 「OH!! 鰐 元気隊」をはじめたきっかけは？

相馬さんは「子どもたちが、この町は素晴らしい町なんだ！と思って育つことが、この町を元気にする根っことなる！」と考え、「OH!! 鰐 元気隊」を立ち上げて活動を始めました。

子どもたちといっしょにボランティアをしたり、野菜を育てたり。

そうして作った野菜を東京での販売体験に連れて行ったり、著名人と名刺交換ができる交流会を開いたりしています。今年で17年。相馬さんは“ふるさと教育”をして、子どもたちが町に誇りを持てるきっかけづくりを続けているそうです。

### 大鰐町の“循環づくり”で大切にしていることは？

地域の力を引き出し、みんなで良い循環をつくること」です。農家のみなさんと「産直の会」を立ち上げ、“売れる仕組みづくり”に挑戦。実際に売上が伸びると参加者も増え、今ではほぼ100軒が関わる大きな取り組みになりました。

惣菜づくりに挑戦する方も増え、地域の中でお金や活動がめぐる流れが生まれています（これをコミュニティビジネスといいます）。

相馬さんは、そんな循環をこれからも育てていきたいと話します。

### 編集後記

今回の相馬さんのインタビュー、「60代になった今が一番楽しい！」の言葉がとても印象的でした。

年齢に関係なく、楽しむ姿勢を持つことの大切さを改めて感じます。今年の檜葉三百も、地域の中で小さくてもワクワクする動きを積み重ねていきます。来月号もぜひお楽しみに！

(臼井)



## 11月の活動記録 — 檜葉三百

11月は、東京ビッグサイトで開催された移住・交流フェアに参加し、地域おこし協力隊に興味のある方や、移住を検討している方と直接お話しする機会がありました。

また、「まるごと大鰐秋の感謝祭」では檜葉三百としてブース出店を行い、多くの方とお話をしたり、私たちの商品を実際に試してもらったりと大鰐やヒバの魅力伝えられる場となりました。

青森市の地域おこし協力隊担当者とは、「どのような地域おこし協力隊を採用し、どんな形で一緒に取り組んでいくか」について意見交換を行い、その流れでポスター制作などの準備も進めました。

ふるさと納税では、青森県の担当者にお越しいいただき、納税額を高めるための方法について相談しました。さらに、国スポに向けた返礼品開発にも着手し、大鰐産の檜葉を使ったスプレーを制作することになりました。

今後は、ふるさと納税の商品登録や文章のブラッシュアップを進めるほか、移住希望者や協力隊希望者を受け入れるための施設整備、そして“お試し居住”に向けた準備にも取り組んでいく予定です。





## ● 中央公民館からのお知らせ



### ～図書の紹介～

中央公民館図書室では、作家以外の著名人の作品も展示、貸出ししております。

泉ピン子さん、梶芽衣子さん、加藤シゲアキさん（NEWS）、木梨憲武さん、ビートたけしさん・北野武さん（作品によって氏名変更）、樹木希林さん、坂本龍一さん、などなど他にも多数の作品がある中で今回紹介するのは、著者／小泉今日子さんの『黄色いマンション 黒い猫』です。

小泉今日子さんと言えば、言わずと知れた 80 年代を代表するトップアイドルであり、キョンキョンの愛称で知られていますが、そのキョンキョンが、自身の半生を赤裸々に綴ったエッセイ集です。「原宿」がキーワードの本作品は、当時の街の様子や時代とともに変化し続ける街並みに自身の身の上を重ねながら、アイドル当時には語れなかったトップアイドル同士の秘密の恋愛話（現在もご活躍中の方です。当時を知る方なら本編を読めば誰のことか分かります。）や、アイドル全盛期でありながら突然この世からいなくなってしまったあの子の話など、80 年代を知る方には懐かしく、80 年代を知らない平成世代の方にも是非とも読んでもらいたい一冊です。



■お問合せ 中央公民館 ☎ 48・3201



## 訪問看護ステーションです



### お薬、正しく飲めていますか？

「お薬飲んだっけ？」「副作用が心配」「薬の数が合わない」「薬が飲みにくい」・・・



そのお悩み、**訪問看護が解決します！！**

訪問看護では、このような支援をします。



お薬カレンダーやお薬BOXを使ったお薬の管理



残薬確認



薬剤師さんと連携して残薬調整・剤型の変更



お薬に関する事の相談・アドバイス



主治医と連携して服薬量や時間の調整

生活スタイルや身体状況、療養状況に合わせた支援を行います。  
ぜひ、お気軽にご相談ください。

### 大鰐町訪問看護ステーション



まずは、お電話ください！

0172-55-6575

.....



## 弘前大学生 コラムコーナー

昨年度から実施している、弘前大学協働事業「町職員×弘前大学生大鰐未来づくりプロジェクト」。今年度は広報6月号から月1回、弘前大学生が大鰐町を見て、触れて、感じたことについてのコラムコーナーを掲載しています。令和7年度第7回目は、坂本 翠（さかもと あきら）さんと成田 颯汰（なりた そうた）さんが語ってくれます！

### 名前で深まるチームワーク 坂本 翠

こんにちは！弘前大学人文社会科学部 社会経営課程2年の坂本翠です。翠で「あきら」と読みます。

わに班として実習を進める中で、役場の方々と連携したり、学祭やわんどストリートなどイベントに参加したりする機会が多くありました。その中で「名前って大事だな」と強く感じました。

活動の場では、まず「自分は何者か」を知ってもらうことが第一だと思います。名前を伝えることは、単なる自己紹介以上の意味を持ち、相手との距離を縮め、安心感や信頼感を生みます。特に私の名前は「翠」で「あきら」と読むため、説明すると会話のきっかけになり、交流が自然に広がりました。役場の方やイベントに協力してくれた方に覚えていただき、「あきら」と呼ばれたとき、一体感ややりがいを強く感じました。班員同士も名前で呼び合うことで、チームワークが深まったと感じています。

実習を通して、大鰐町の人々の温かさや班員とのつながりを築くことができました。この「名前」がつかないでくれた温かさを、これからも大切にしていきたいと思います。



### 実習でつながった、大鰐町とのあたたかい輪

成田 颯汰

私はわんどすとりーとでスタッフとして参加した際に初めて大鰐町を訪れました。初対面にも関わらず多くの方が自ら声をかけてくださり、とても温かく親しみやすい雰囲気を感じたことが印象に残っています。

そしてその親しみやすさはわんどすとりーとだけに限らず、日々実習を通して実感しています。実習では大鰐町役場の方々と連携しながら活動を行うのですが、役場の方々は常に柔らかく話しやすい雰囲気で接してくれます。そのおかげで役場と学生という枠にとらわれず、同じ目標に向かって一緒に歩んでいるような心地よさを感じ、やりがいをもって実習に取り組むことができていますのだと思います。

10月に行われた弘大祭では、大鰐町に興味を持ってもらうために様々な企画を展開した大鰐町ブースを出店しました。弘大生をはじめ多くの人で賑わっている様子を見て、大鰐町のことを少しでも知ってもらえたかと思うと自分事のように嬉しかったです。はじめは小さかった大鰐町とのつながりが、実習を重ねるごとに私の中で大きく、かけがえのないものになっていると感じました。実習で得たこのつながりを大切にしたいですし、これからも個人的に通うなど何かの形で大鰐町と関わっていけたらと思います！



## 小・中学校の講師およびスクールサポートスタッフ募集！(令和8年度)

公立小・中学校において、令和8年度に児童・生徒の指導に当たる「講師(臨時的任用職員)」と教員に代わって教材の準備等を行う「スクールサポートスタッフ(週15時間又は週10時間勤務)」を募集しています。

### ▽応募資格

●講師 小・中学校の教員免許状を所有している人

※「臨時免許状」を授与することにより、所持免許状以外の校種・教科の指導ができる場合があります。

●スクールサポートスタッフ 資格等不要

### ▽応募方法

ホームページ(二次元コード)に掲載している「青森県公立学校臨時的任用職員申請書」を提出してください。



青森県教育庁中南教育事務所  
(弘前市蔵主町4)  
☎32・4451

## 弘前地区環境整備事務組合からのお知らせ

【ペットボトルdeけん玉体験教室】参加者募集

ペットボトルを使ったけん玉おもちゃでリサイクルしながら運動しませんか！

●日時 令和8年2月7日(土) 10時～12時

●場所 弘前地区環境整備センタープラザ棟

●定員 20人(先着順)

●参加費 無料

●持ち物 特にありません

●申込方法 令和8年1月11日(日) 9時から受付を開始します。電話

またはEメール(教室名・氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を記入)でお申し込みください。

☎ plaza-ebarahirosaki@ebara.com

※2人まで応募できます。

## 「アロマワックスボール作り教室」参加者募集

ボール型アイスの容器と使い残しのろうそく、ドライフラワーを使ってエコで可愛いインテリア雑貨を作ってみませんか。

●日時 令和8年2月14日(土) 9時30分～12時

●場所 弘前地区環境整備センタープラザ棟

●対象 15人

●参加費 無料

●持ち物 特にありません

●申込方法 令和8年1月23日(金)までに電話またはEメール(教室名・氏名(ふりがな)・年齢・住所・電話番号を記入)でお申し込みください。

☎ plaza-ebarahirosaki@ebara.com

※2人まで応募できます。応募多数の場合は抽選で決定し、令和8年1月30日(金)までに結果を応募者全員にお知らせします。

以上の二つの体験教室に関する詳細についてはプラザ棟ホームページをご覧ください。

<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/kankyoseibi/plaza/index.html>



弘前地区環境整備センタープラザ棟

(〒036・8314 弘前市大字町田字筒井6-2)

☎36・3388(受付時間は9時～16時)

## 「里親制度オンライン説明会」を開催します！

里親制度について知りたい方を対象にオンライン説明会を行います。お申込みいただいた方へ参加URLをお送り致します。当日は質問受付もします。

●日時 令和8年2月1日(日) 13時30分～14時

●参加費 無料(事前申込必要)

●締切日 令和8年1月15日(木)

●申込 予約サイト(Google form)  
<https://x.gd/Yohur>

☎ 弘前親支援センター弘前  
31・6010



## 青森家庭裁判所からのお知らせ

### ●「存じですか?知財調停

知財調停とは、ビジネスの過程で生じた知的財産権に関する紛争(特許権、著作権、商標権、不正競争防止法に定める不正競争)について、当事者双方の話し合いにより解決を図る手続きです。

裁判官、知的財産権事件の経験が豊富な弁護士・弁理士などから構成される調停委員会とともに紛争解決を目指します。

東京地方裁判所、大阪地方裁判所で運用しておりますが、ウェブ会議を利用して手続きに参加できますので、ぜひ気軽に相談ください。

### ●離婚と子どもをめぐるルールが新しくなります！

令和8年4月1日より、改正民法が施行され、離婚後に父母双方を親権者として定める共同親権を選択することができるようになります。また、離婚時に養育費の取り決めをしていなくても、一定額の法廷養育費を請求することができるようになります。

話し合いでまとまらない場合は、家庭裁判所の手続きを利用して解決を図ることも考えられます。手続き案内や申立書については、裁判所ウェブサイトでご案内しております。また、今回の法改正による内容を詳しく知りたい方は、特設ページ「離婚と子どもをめぐる新しいルールについて」をご覧ください。

☎ [https://www.courts.go.jp/saiban/syurui/syurui\\_kazi/kazi\\_kaisei/index.html](https://www.courts.go.jp/saiban/syurui/syurui_kazi/kazi_kaisei/index.html)







●広報おおわには町のホームページでも公開しています 【URL】 <http://www.town.owani.lg.jp/>



## 今月の表紙

まるごと大鰐秋の感謝祭のミニクリスマスツリー製作体験で子ども達が作ったツリーです。クリスマスもあっという間に過ぎていきましたが、皆さんは昨年、どんな一年になりましたか？ 今年は皆さんにとって良い年になりますように。

広報おおわに No.756  
令和8年1月号

発行 大鰐町  
編集 大鰐町総務課

〒038-0211  
青森県南津軽郡大鰐町大字大鰐字  
羽黒館5番地3  
TEL 48・2111  
FAX 47・6742  
H P <http://www.town.owani.lg.jp/>  
発行部数 3,900部



わになって みんなボカボカ 大鰐町

大鰐町



大鰐町HP



大鰐町 LINE